

科目名	スイミングB							年度	2025
英語科目名	swimmingB							学期	前期
学科・学年	スポーツ健康学科 スポーツビジネスコース 2年次	必／選	選	時間数	30	単位数	1	種別※	実技
担当教員	橘、大野	教員の実務経験		有	実務経験の職種		スイミングインストラクター		
【科目の目的】									
水泳コーチ1の取得を目指し、実技試験に必要な4泳法を確実に身につけること目的とする									
【科目の概要】									
フォームの矯正を行い、模範となる泳法、横泳ぎを習得。さらに集団・個人の指導法の実習、指導計画の立案評価、心肺蘇生法について学びます。									
【到達目標】									
A水中運動や水の特性を理解し、併せて健康運動の必要性についても理解している B水中運動や水泳をスポーツ科学的観点から指導する方法を理解している C水中運動や水泳を安全に楽しくおこなうことができる D4つの泳法を資格基準のタイムで問題なく泳ぐことができる									
【授業の注意点】									
危険行為はしないでください（講師の許可無しでの入水・指導以外の飛び込みや潜水・水泳道具以外の持込み等）。盗難防止の為、ロッカーには必ず鍵をかけてください。見学の場合は、授業が終わるまで静かにしてください。									
評価基準＝ループリック									
ループリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	水中運動や水の特性を理解し、併せて健康運動の必要性についても理解している		水中運動や水の特性を理解している		水中運動や水の特性を知っている				
到達目標 B	水中運動や水泳をスポーツ科学的観点から指導する方法を理解している		水中運動や水泳をスポーツ科学的観点から理解している		水中運動や水泳をスポーツ科学的観点から考えることができる				
到達目標 C	水中運動や水泳を安全に楽しくおこなうことができる		水中運動や水泳を安全に行うことができる		水中運動や水泳を行うことができる				
到達目標 D	4つの泳法を資格基準のタイムで問題なく泳ぐことができる		4つの泳法を資格基準のタイムで泳ぐことができる		4つの泳法を資格基準のタイム程度で泳ぐことができる				
【教科書】									
授業に必要な教材資料等については教員にて準備・配布する。参考書等を使用する場合には授業内にて指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
成績評価については、筆記もしくはレポートによる試験結果（中間/期末/定期的な提出物など）30％、授業中の参加姿勢/学習意欲（リーダーシップ、積極性、学習に対する向上努力など）30％、出席状況40％とし、授業内における達成度・到達度を総合的に判断して行います。なお、成績評価を受けるためには、全授業の75％以上の出席が必要となります。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

